

ESD-Jオンラインセミナー

「なぜNPOは政策提言を行うのか」

2023年1月6日（金）

NPO法人市民社会研究所 代表理事
松井真理子

本日の内容

- 1 自己紹介
- 2 NPOの機能と特性
- 3 事例からみるNPOの機能
- 4 NPOが政策提言をする意味

1 自己紹介

1983年4月～1998年3月 島根県庁職員

(うち1991年4月～1994年8月 (財)自治体国際化協会出向)

1998年4月～2001年3月 NPO法人斐伊川流域環境ネットワーク事務局長
(県庁在職中に立ち上げたNPO)

2001年4月～2023年3月 四日市大学総合政策学部教授・同特任教授

【現在のNPO活動】

- ・NPO法人市民社会研究所代表理事 (2004年～)
- ・NPO法人みえNPOネットワークセンター代表理事 (2011年～)
- ・公益財団法人ささえあいのまち創造基金理事 (2012年～)
- ・東海市民社会ネットワーク共同代表 (2016年～)

市民社会研究所の事業体系

ひと

- ・市民教育
 - ・人権学習・啓発
 - ・ディベート
 - ・各種学習会
- ・就労困難者の支援
 - ・サポステ
 - ・伊勢おやき本舗
 - ・トレーニングカフェ
- ・生活困窮者支援

つなぐ

- ・つながりの仕事おこし
- ・コミュニティ・オーガナイズ
ングの学習・実践
- ・ネットワーク型中間支援
組織の構築・事務局
 - ・みえNPOネットワークセンター
 - ・ささえあいのまち創造基金
(四日市NPO協会)
 - ・東海市民社会ネットワーク

変える

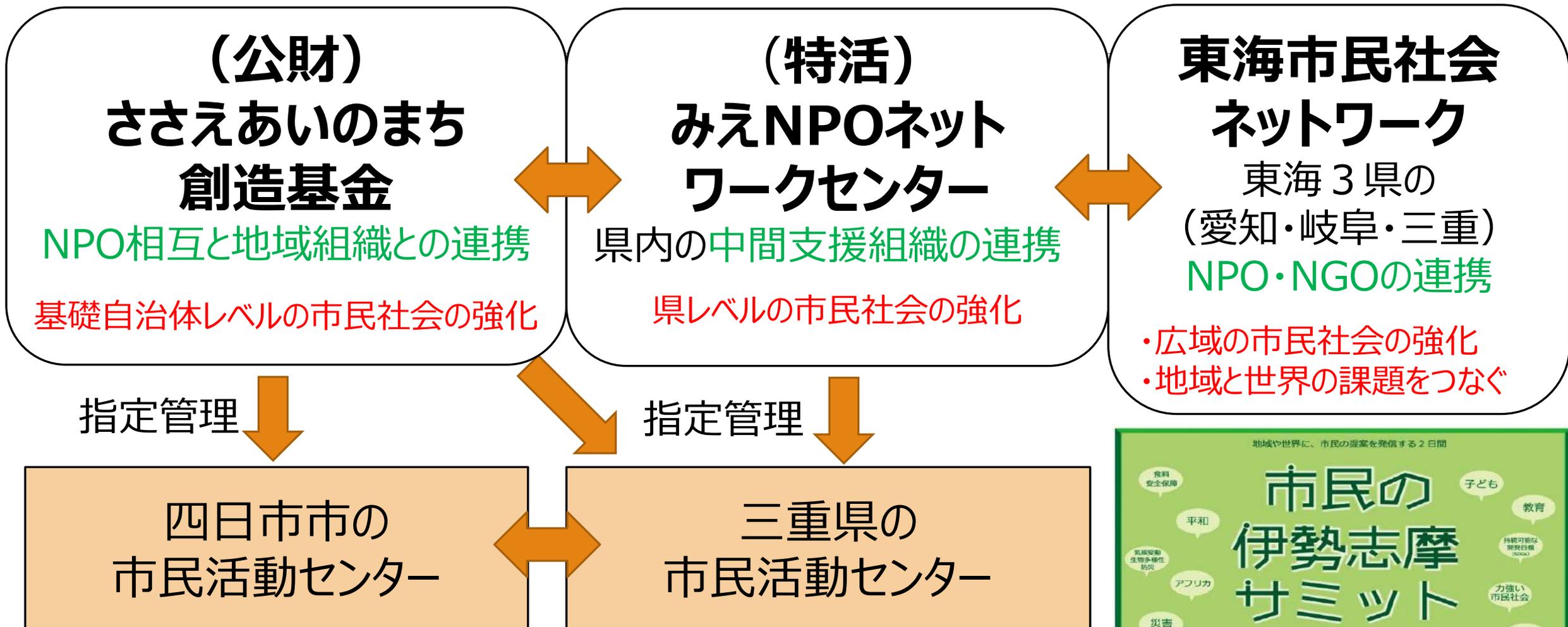
- ・行政への市民参加
 - NPOによる集团的パブリック
コメントなど
- ・行政等との政策対話
/政策提言
- ・調査研究
 - (例) 市民のためのパブリックコメント
自治体におけるNPOのアドボ
カシー戦略
自治体とNPOの協働の課題

市民社会研究所
(B~2F)

スプラウト
(1F)



ネットワーク型中間支援組織と相互関係



2 NPOの機能と特性

機能	対象	内 容
サービス提供機能	サービスの受益者	<ul style="list-style-type: none">・社会の潜在的な課題を発見し、創造的で迅速なサービスを提供する・当事者のニーズにきめ細かに寄り添い、利益が出ない活動も行う
コミュニティ構築機能	市民サービスの受益者	<ul style="list-style-type: none">・主体的に社会課題に取り組む市民性を育てる・人々のつながり（社会関係資本）を創る・課題当事者をエンパワーメントする
アドボカシー機能	政府 自治体 社会全般	<ul style="list-style-type: none">・政策提言・対話、陳情 など・学習会等による啓発や世論形成、調査研究・新しい課題に対する創造的な活動の実践 など

①サービス提供機能にみるNPOの独自性

例) 1人暮らしのおじいさんを
元気にできるのは誰？



家族がいない！
家族がやれない！

家族

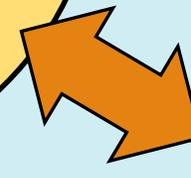
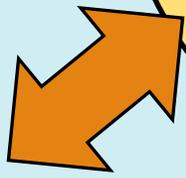
国
自治体

お金がない！
人がいない！
アイデアがない！

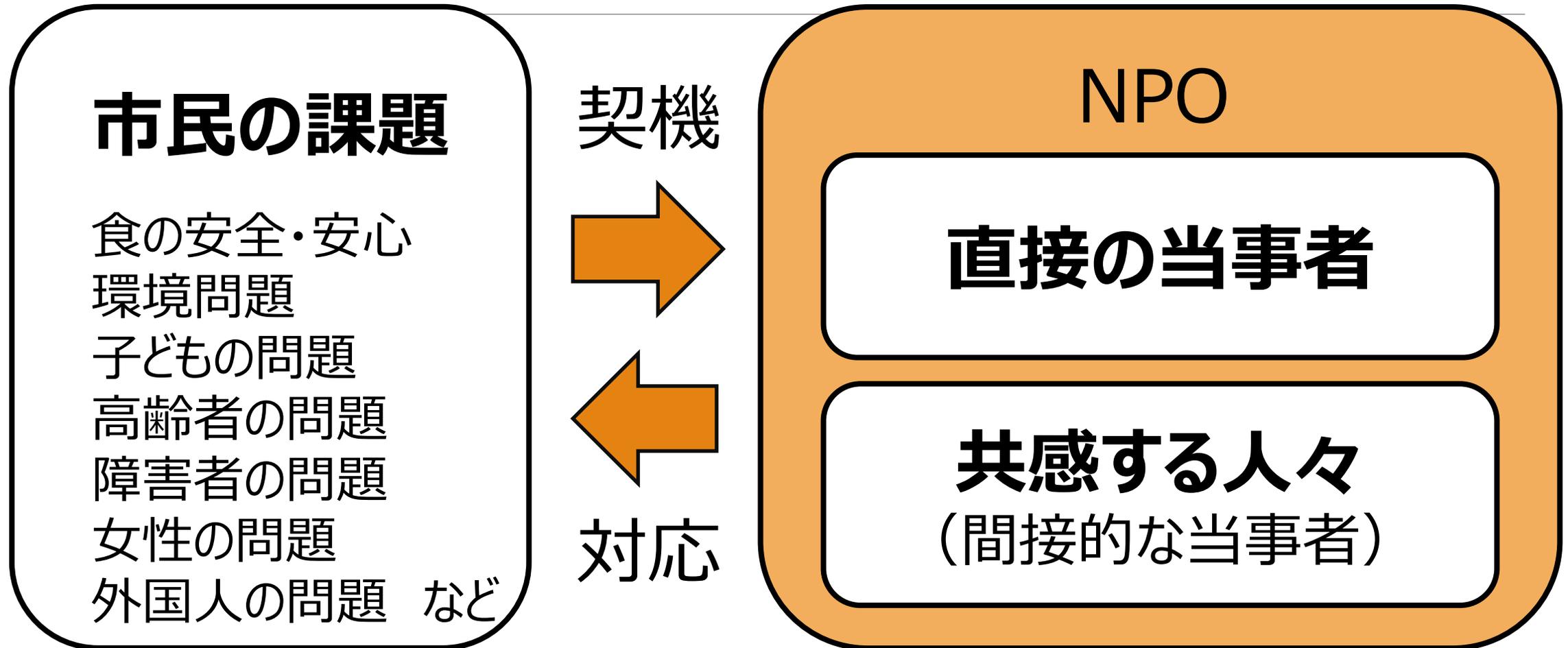
利益が出ないことは
できない！

企業

NPO
(市民セクター)



②コミュニティ構築機能にみるNPOの独自性 「市民性（当事者性）」



3 事例からみる NPOの機能

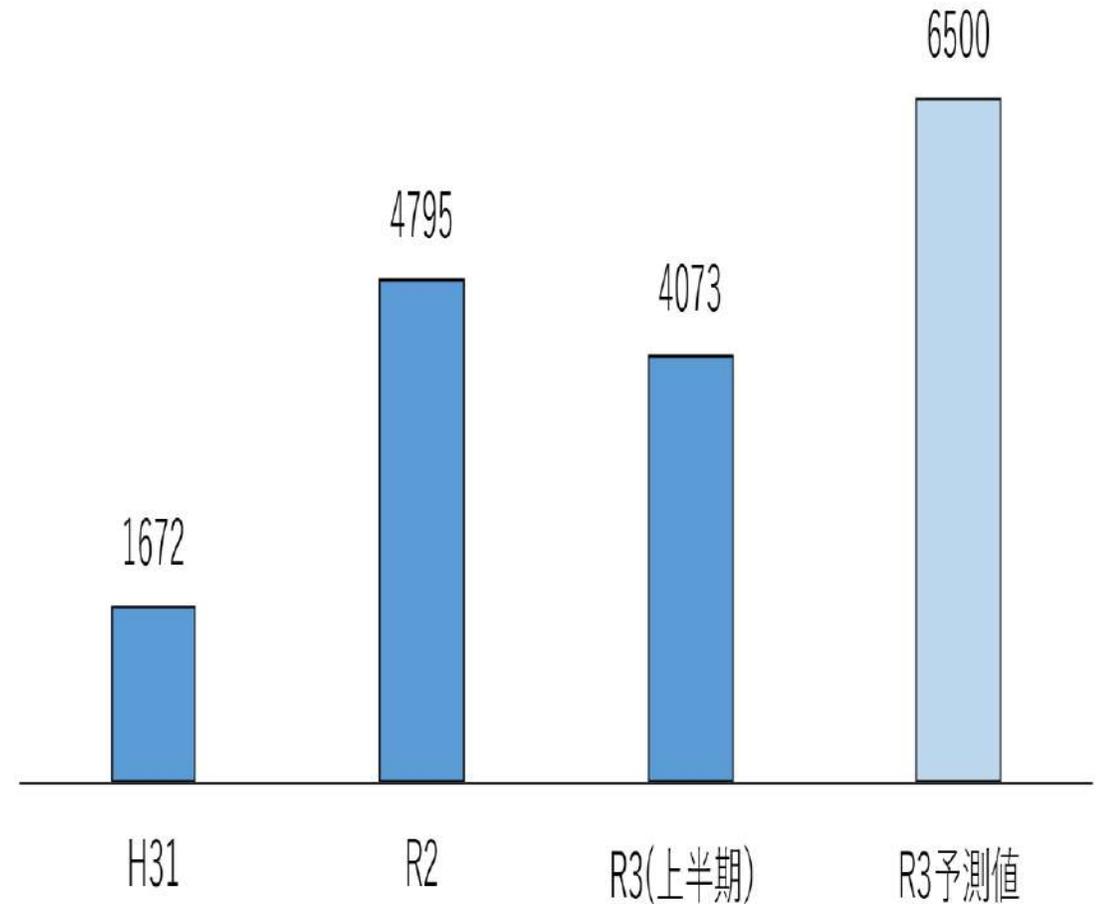
① 問題の気づきと話し合い

- ・コロナ禍による生活困窮者の増加の実態はどうなっているのか。
- ・地域のNPOは何をすべきか



四日市市の相談件数の現状

四日市市社会福祉生活支援室相談者のべ人数



②生活困窮関係者との対話・学習会 (生活困窮担当部署 (市役所・社会福祉協議会) ほか)



③生活困窮者サロンと対話 (無料食事つき)



毎週2回 17:00~19:00





④ 困窮者・スタッフ・ 関係者の中で 生まれるコミュニティ

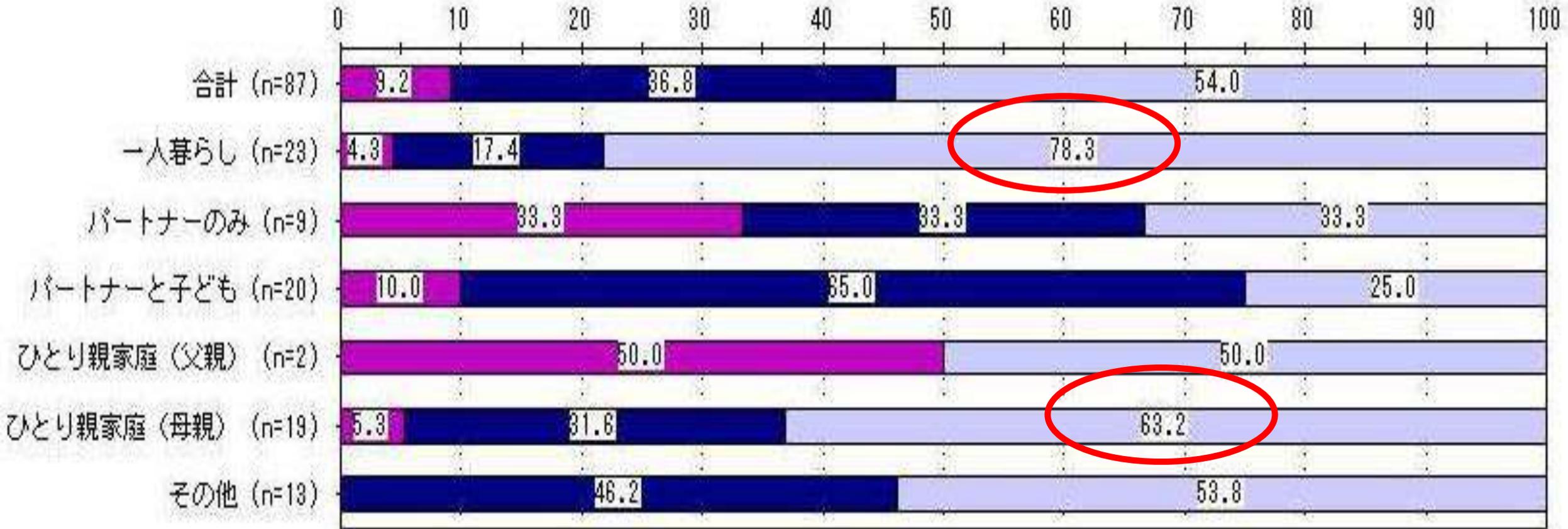
ボランティアで調理を担うラーメン屋のご主人



家族のような親しみやすさをつくりだす補助スタッフたち

⑤生活困窮者へのアンケート調査（社会福祉協議会の協力）

8 (1) あなたのつきあい（近所の人） × 世帯状況



資料：市民社会研究所「生活困窮者状況調査」2021年

■ よくつきあう ■ たまにつきあう □ まったくつきあわない

⑥ 取組みの成果に基づくNPO・行政等との政策対話



⑦成果のまとめと公表



⑧市民のつながりによる 新たな事業の誕生



四日市市内22の中学校区で
こども食堂
を開催する
キックオフイベント

とき
2023 **2.19** 日
10:00 ▶ 11:30

つながりの仕事おこし事業

成果発表会



参加申込
不要

さまざまな理由で就労が困難な人に対して
一人一人に合った仕事を見つける「仕事おこし人」。
①本人 ②伴走人 ③仕事おこし人 ④事業所の
4つどもえの「仕事おこし」を紹介します。

仕事おこし事業とは？



「仕事おこし」の 事例紹介

Q&A 意見交換

今後の提案

日時

2023年 **2月26日**(日)
13:30~16:00

場所

本町プラザ 1階ホール
四日市市本町9-8
TEL 059-354-8600
駐車場は近隣のコインパーキングをお使いください



お問い合わせは

NPO法人 市民社会研究所

TEL・FAX

059-355-5115

E-mail ssk21ww@yahoo.co.jp

URL <http://www.yokkaichi-npo.net/>

4 NPOが政策提言をする意味

(1) NPOにしかない政策形成力を発揮する

- ・課題当事者との同質性（同じ地域に居住／同じ課題の当事者）
- ・NPOは課題当事者の真のニーズを把握しやすい
- ・国や自治体も気づいていない課題の第一発見者
- ・NPOの活動は国・自治体の政策・事業の先どり

(2) 住民自治・民主主義を実体化する

今の「当たり前」は

誰かの「ほっとけない」から始まっている...



国や自治体の政策

→自治体の政策課題に
→社会全体の課題に

社会的認知

社会にひろげる

仲間で行く

NPO(市民活動)

「現状の協働」の領域
制度や税金でも支える
事が可能な状態

気づき/ほっとけない

↑
市民にしかできない領域
課題に気づいた人が
「ほっとけない」と行動

資料：
(公財) 京都地域創造基金
代表 深尾昌峰氏